

ゼロカーボン社会の実現に向けた取組 に対する支援について

【担当省庁】内閣府、経済産業省、国土交通省、環境省

「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」を見据え、京都が持つ産学
公金連携のネットワークを活かし、ゼロカーボン社会の構築に向けて、
以下の支援等をいただきたい。

〔ゼロカーボンゾーン等への支援〕

- 太陽光やバイオマス、水素等の再エネ資源等と事業者のオープンイ
ノベーション等を組み合わせた取組に対して、地域の特色を生かし
てエネルギーを横断的に活用できる総合的な再エネ交付金の創設

〔モビリティ普及に向けた支援〕

- 地方における移動や地域交通等において、自動車・バス・トラック
の電動化（燃料電池含む）を進めるために、車両導入に係る補助率
を引き上げるとともに、急速充電器や水素ステーションの採算が成
り立つ支援

〔普及拡大に向けた規制緩和〕

- 水素利用の利便性・効率性の向上のため、安全性を前提としつつ、
障壁の高さや構造に係る技術基準の見直し等とともに、柔軟な水素
供給方法を実現するために、水素ステーションでの移動式水素ステ
ーションへの充填を可能とする規制緩和

【現状・課題等】

- 京都府では、「ZET-valley」や「サステナブルパーク」、「ゼロカーボンゾーン」
等の全国的に先駆けた取組を進めようとしているが、現状、太陽光やバイオマス、
水素、地熱等の再生可能エネルギー等を横断的に活用できる制度がない。
- 重要な次世代エネルギーと位置づけられている水素を地域内で製造し、移動式水
素ステーションを利用して供給する地産地消型の実証事業を行うこととしている
が、更なる普及拡大に当たって、水素製造拠点や大規模需要がない地域におい
ても、新たなビジネスモデルの構築が必要
- また、「規制改革実施計画（令和2年度7月閣議決定）」で新たに追加された項
目について、規制改革が進んでいない状況にあり、早期実現が必要

京都府 の担当課	総合政策環境部 脱炭素社会推進課 (075-414-4297)
-------------	---------------------------------

【国の事業等】

■第6次エネルギー基本計画（令和3年10月）

- ▶ カーボンニュートラル時代を見据え、水素を新たな資源として位置付け、社会実装を加速

■クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金〔経済産業省〕 300億円

- ▶ 導入初期段階にある燃料電池自動車等の購入費用や、普及に不可欠な水素ステーションの整備費及び運営費を補助

■地域脱炭素の推進のための交付金〔環境省〕 350億円

- ▶ 「地域脱炭素ロードマップ」等に基づき、意欲的に脱炭素に取り組む地方公共団体等に対して、交付金を交付

■地域交通のグリーン化に向けた次世代自動車の普及促進事業〔国土交通省〕 20.5億円

- ▶ 電動車バスの普及等を促進するための購入補助等を実施

【京都府の取組】

■水素未来プロジェクト推進事業 2百万円

- ▶ 令和元年度から「京都府水素社会みらいプロジェクト検討会議」を立ち上げ、水素産業に係る関係者とともに、水素社会実現に向けた方針や取組内容を協議し、施策を検討



■FCFL 普及に向けた導入の実証事業 70百万円

- ▶ 令和3年度、FCFLの運用と水素の巡回供給の実証事業を実施
- ▶ 令和4年度、複数市町や工業団地等を対象に実証事業を実施
- ▶ 令和5年度、実証事業の継続と水素社会の創出に向けたセミナーを実施予定

■水素ステーション・FCFL 導入支援 22百万円

- ▶ 令和4年度から、府内の水素の需要創出と供給体制の確立に向けたモデル地域創設のため、水素ステーションとFCFL導入に対する府独自の導入支援を実施

〈補助率・額〉水素ST：導入費用の 1/10（上限 15,000 千円）、
FCFL：導入費用の 1/10（上限 1,400 千円）

事業内容																	
<p>(1)水素ステーション整備事業</p> <p>ア 補助対象者：府内で事業を行う者</p> <p>イ 補助対象事業： 府内に水素ステーションを新たに設置する事業</p> <p>ウ 補助金の額： 補助対象経費の1/10 (上限：1,500万円/件)</p>  <p>総事業費 約1.5億円</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>国庫補助 (2/3) 約1億円</td> <td>国庫補助外 (1/3) 約5,000万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自己負担額 約3,500万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>府補助</td> </tr> </table>	国庫補助 (2/3) 約1億円	国庫補助外 (1/3) 約5,000万円		自己負担額 約3,500万円		府補助	<p>(2)燃料電池フォークリフト導入事業</p> <p>ア 補助対象者：府内で事業を行う者</p> <p>イ 補助対象事業： 燃料電池フォークリフトを導入する事業</p> <p>ウ 補助金の額： 補助対象経費の1/10 (上限：140万円/件)</p>  <p>出典元：豊田自動織機</p> <p>総額 約1,500万円</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">国庫補助対象経費</td> </tr> <tr> <td>ベース車両 (エンジン) 約400万円</td> <td>総額とベース車両価格の差額 約1,100万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>国庫補助 (差額×1/2) 約550万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自己負担額 約410万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>府補助</td> </tr> </table>	国庫補助対象経費		ベース車両 (エンジン) 約400万円	総額とベース車両価格の差額 約1,100万円		国庫補助 (差額×1/2) 約550万円		自己負担額 約410万円		府補助
国庫補助 (2/3) 約1億円	国庫補助外 (1/3) 約5,000万円																
	自己負担額 約3,500万円																
	府補助																
国庫補助対象経費																	
ベース車両 (エンジン) 約400万円	総額とベース車両価格の差額 約1,100万円																
	国庫補助 (差額×1/2) 約550万円																
	自己負担額 約410万円																
	府補助																